

# 土づくり体験を行いました☆



今年度、視覚部門・知的部門の両部門の連携・交流の一環として「土づくり・花そだて」活動を行っています。御家庭からも、土づくりの材料となる野菜の回収の御協力をいただき、活動に役立てているところです。ありがとうございます。

さて、10月9日に、視覚部門小学部は土づくり体験を行いました。なんと今回、土づくりの授業を行う際の特別講師は校長先生。校長先生自身の土づくりや野菜作りの経験を聞き、実際に腐葉土や米ぬか、乾燥させた野菜などを触ったり、匂いを嗅いだりし、土に混ぜていきました。また、自分たちの作ったばかりの土と、発酵した土の温度の違いにも気づき、理解を深めていきました。

子供たちからは「腐葉土ってなんだろう?」「米ぬかかって初めて聞いた。いい匂いがするんだね。」など様々な発見や疑問が生まれました。特に印象的だったのは、乾燥させた野菜は、みかんの皮・ニンジンの皮が中心だったのですが、多くの児童たちが「梅の匂いがする!」と感想を述べ、実際に私も匂いを嗅ぐと、確かに梅の匂いがしました。実際には、梅は入っていないのですが、いろいろな物が混ざると違った匂いになる。これもまた一つの気づきだと思いました。

これから、1週間ごとに各学級当番制で、土の手入れをすることになります。生き物や植物を育てることは今までも経験がありましたが、土を育てるというのは新たな経験です。この土を使って、花を育て、部門を超えての交流、地域との交流へとつなげていきたいと思っています。